



北アフリカ地域ニュース

モロッコ：総選挙に関する国王の演説

(8月20日付現地報道)

8月20日、モハメッド6世国王は、テトゥアン王宮にて革命記念日の演説を行い、9月7日に予定される総選挙に言及した。

1. 総選挙の準備活動終了日(23日)の数日前に54回目の革命記念日を迎えた。今回の選挙は、民主主義の発展の質的飛躍を示す機会であり、国民は、種々の公約や政党、候補者の中から自由な選択を行う。我々は市民参加を促す現代的かつ有用な仕組みを整えた。具体的には、平等の下で全政党の選挙参加を認める選挙法、党活動における資金の透明性確保に関する新法、良い意味での行政の中立、独立した司法審査、世論喚起とフォロー役としてのNGO・メディアの一貫した関与、より平等な女性の進出に特徴付けられる。
2. 今後、政治はより成熟した段階へ進み、与野党が互いに競い合い、有権者の支持獲得を目指す。選挙は形式のみならず、選挙の各段階における中身において質的飛躍を伴わなければならない。又、投票は責任ある市民性の要素の一つである。汚職、不正行為、権力や社会的利益の濫用は許されない。
3. 政治は、一部の社会層や限られた者によるものではなく、国内外に住むモロッコ人全てによるものである。在外モロッコ人の選挙参加は、段階的・発展的な協議プロセスの第一段階でしかなく、諮問・代表・執行の性格をもつ各種機関に今後彼等が関わっていくことが望まれる。政治参加の次のステップとして、在外モロッコ人を対象とした上級評議会の設置が求められており、「人権諮問評議会(CCDH)」にて検討されている。
4. 政党及び候補者は、明確かつ実現可能な計画を掲げ、有権者を喚起し、選挙参加へ導く役目を担う。政府は、選挙のあらゆる段階において厳正中立を保ち、違反を抑制・鎮静し、法を適用する。司法、とりわけ検察は、警戒を厳重にすることが必要である。係争時、司法は独立して迅速かつ実直に、毅然と判決を言い渡さなければならない。
5. 今回の選挙でメディアと各種NGOが責任をもって市民喚起及び選挙監視活動に参加する。CCDHがこれらの活動を統率する。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799